

(別紙5)

整 理 番 号 2023P-154
補 助 事 業 名 2023年度 児童、高齢者、障がいのある人等が相補的に関わることで
 できる地域共生型社会づくりを促進する活動、調査・研究等 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 恩賜財団済生会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

社会福祉法人等の民間が、学童と同等の機能を整備しつつ、障がい者や高齢者、貧困世帯を含めてすべての市民が集まり交流しうる、多世代・多様性型の「放課後の居場所」を商業施設等の日常的な場にハード（施設）・ソフト面で整備するため以下の検討を行う。

(2) 実施内容

①放課後児童クラブ等を補完する機能整備に向けた実証研究

先進事例調査、子どもの居場所づくりに関するアンケート調査等の結果を踏まえ、多様な人が参加でき交流が期待できる運動プログラムとして「モルック」、普段なかなか体験できない体験型プログラムとして「デジタル系ものづくり講座」(3DCG 制作)の2つについて実証を行った。

②放課後児童デイサービス等を補完する機能整備に向けた検討

- ・ 職業体験特化型事業所のサービス内容や対象の拡大に向けた検討
- ・ デジタルリハビリの対象の拡大に向けた検討

③ソーシャルインクルージョンのさらなる方策の推進に向けた検討

- ・ 子育て期の就労をサポートする仕組みづくりに関する調査検討
- ・ フードバンクや地域食堂の機能を生かしたソーシャルインクルージョンの推進方策の検討
- ・ 地域住民のサポート体制構築に向けた検討

2 予想される事業実施効果

本事業は商業施設が地域の「居場所」になるかを実証したものであったが、小樽唯一の大型商業施設を使えることのメリットは大きく、誰もが通うことが可能で、また室内のため雪害のある北海道においても通年を通して活動が出来ることは、本活動を実装することが出来ることを証明できたと考える。

(別紙5)

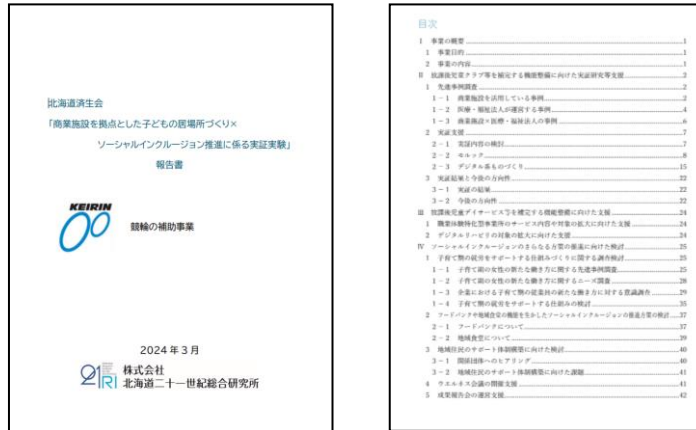
3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

北海道済生会

「商業施設を拠点とした子どもの居場所づくり×

ソーシャルインクルージョン推進に係る実証実験」報告書



[JKA補助事業報告 | 北海道済生会ホームページ \(amebaownd.com\)](https://amebaownd.com)

[公益財団法人JKAの競輪とオートレースの補助金による令和5年度調査・研究等補助事業が完了 | 済生会 \(saiseikai.or.jp\)](https://saiseikai.or.jp)

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人 恩賜財団済生会（オンシザイダンサイセイカイ）

住所： 〒108-0073

東京都港区三田1-4-28

代表者： 理事長 炭谷 茂（スミタニ シゲル）

担当部署： 事業部 総合戦略課（ジギョウブ ソウゴウセンリャクカ）

担当者名： 企画員 藤澤 厚子（フジサワ アツコ）

電話番号： 03-3454-3076

FAX： 03-3454-5576

E-mail： a.fujisawa@saiseikai.or.jp

URL： <https://www.saiseikai.or.jp/>